

月報「ぶどうの木」

2022年4月号

「悲しんでおられる神」

秋田郁美

エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて、言われた。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたなら……。しかし今は、それがお前には見えない。やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、お前とそこにいるお前の子らを地にたたきつけ、お前の中の石を残らず崩してしまうだろう。それは、神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである。」

ルカ 19:41~44

連日伝えられるウクライナでの惨劇に心を痛めている人が多いことでしょう。徐々に明らかになるロシア軍の非人道的で残酷な行為に、人間というのは今も昔も変わらずこんなにも愚かな者なのだ、と恐怖を感じています。世界中でウクライナのために祈りが捧げられています。なぜ、神は何もしてくださらないのか、とおなしさを感じている人も多いのではないのでしょうか。

冒頭の聖句は、イエスさまがエルサレムの神殿を見て、やがてそれが戦争によって破壊されることを預言して(エルサレムの第二神殿は紀元70年にローマ軍の攻撃によって破壊された)泣かれた、という場面です。今のウクライナの状況も、神は悲しんでいることでしょう。しかし今は、神はその全能の力を制御され、人間に自由意志を与えられたので、この世界のシステムに任せています。次に神がその力を働かせるのは、この世界が終わり、新しい天と地が造られる時だと思えます。それまで、神は人の心が変えられて神に立ち帰るのを忍耐し、悲しみながら待っておられます。

苦しみの中にあって、永遠の命の希望が支えとなると信じます。私たちは、人の心に働いてくださる神の力を信じて祈り続けます。日本で暮らす私たちのこの平和が決してあたりまえのことではないことがよく分かりました。安心して眠れること、食べる物があることに感謝します。マリウプリの市長の言葉でしょうか。ネットで「神に祈るのをやめてください。祈りではなくて助けて下さい。」と訴えていました。その気持ちも分かります。でも私たちは祈ることをやめません。イエス・キリストは必ず再臨されます。約2000年前、復活と昇天がありました。私たちはその時と、再臨の間を生きるのです。時をわきまえて、一人でも多くの方が永遠の命を得ることを祈ります。

2月13日明石上ノ丸との合同礼拝



ウクライナから避難してきたご家族に古着やマスクを送りました



日本へようこそ！子どもと作ったメッセージボード

4月役員会決定事項

- ・3月度の経常会計・基金会計・建造物会計が承認された。
- ・教会外壁と屋根のメンテナンス工事が4月18日より始まる。外壁の色は現在の色になるべく近いものを役員で選んで決定する。
- ・今年度より馬場一朗師は町田の担当ではなくなり、教会担当教師は秋田郁美師1人となった。合わせて教団内の位置づけとして、伝道所から第1種教会に変更することを5月の教会総会の議案とする。承認されれば教団に申請し、6月の教団総会で承認を得る。
- ・5月9日(月)に開催予定の東部教区会はコロナの状況をみて4月25日ごろ決定される。当教会からの出席者はその時点で決める。
- ・4月21日(木)の祈禱会は牧師都合により休会とする。

3月度の会計報告

経常会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

月定献金	257,000	牧師謝儀	100,000
礼拝献金	30,000	伝道費	57,113
C S 献金	0	礼典費	0
特別感謝献金	10,000	C S 補助	0
祝祭献金	0	周年記念費	0
雑収入	0	事務消耗費	7,636
<月定献金>		水道光熱費	10,007
秋田家、池田(博)家、池田(真)家、大槻姉、岸田姉、		電話代	8,204
佐藤姉、長岡家、西村姉、久田家、三石家、山田家		什器備品費	5,800
<感謝献金>		教団負担金	30,000
久田家		謝恩金負担金	18,000
		対外献金	0
		慶弔・接待費	0
		研修費	1,000
		基金繰入金	1,000,000
収入小計	297,000	支出小計	1,237,760
前月繰越金	1,095,018	次月繰越金	154,258
合 計	1,392,018	合 計	1,392,018

教会基金会計 残高 5,000,000 円

報告: 山田正博

教会建造物会計

【収入の部】

【支出の部】

(単位: 円)

教会内部献金	0		
教会外部献金	0		
利息収入	0		
収入小計	0	支出合計	0
前月繰越金	979,211	次月繰越金	979,211
合 計	979,211	合 計	979,211

報告: 秋田郁美